

## 共同研究

## SRC全米選挙調査 ( American National Election Study ) の磁気テープデータ利用のパッケージ

真 鍋 一 史<sup>\*</sup>  
 山 田 格<sup>\*\*</sup>  
 小 林 良 彰<sup>\*\*\*</sup>

## I はじめに

社会科学における観察の技術には「社会現象がそのうえに痕を残しているところの諸資料を分析する方法」と「社会現象を直接観察する方法」の二つの種類がある。<sup>1)</sup>世論研究の分野についていえば、前者には世論の反映体としての新聞や雑誌の記事の内容分析が、後者には標本面接法による世論調査がある。

世論調査は現在では多くの人びとにとって馴染の深いものになってきている。しかし世論調査の技術が開発されたのは1930年代半ばになってからであり、それまではもっぱら内容分析の方法がとられていた。内容分析は世論の時系列的な変化をとらえるのに有効な方法であるが、<sup>2)</sup>「マス・メディアにあらわれた諸価値がいつの時代でも人びとの態度の完全な指標とは限らない」<sup>3)</sup>という問題もあるので、世論の直接的観察がどうしても必要となるのである。

1930年代以前の世論研究は「どのようにすれば多数の人間を同時にとりあつかうことができるか」

「どのようにすれば外部から観察できない人間の主観的意識を客観的にとりあつかうことができるか」という二つの問題をかかえていた。標本面接法による世論調査は、一方においては「標本」を選ぶことによって世論現象の大量性という問題を解決し、他方においては「面接」という技術によって世論現象の内面性という問題を解決した。<sup>4)</sup>世論調査法の開発が世論研究の系譜において最も重要な分岐点をもたらした<sup>5)</sup>といわれるのはこのためである。

こうして、世論調査法の開発以後、膨大な世論調査データが社会科学のすべての領域における共通財産として蓄積されるようになってきた。米国のローパー世論調査所 (The Roper Public Opinion Research Center), ミシガン大学のICPSR (Inter-University Consortium for Political and Social Research), シカゴ大学の全国世論調査研究所 (National Opinion Research Center), 英国のエセックス大学SSRC調査アーカイヴ (Social Science Research Council Survey Archive), 西独のケルン大学社会調査中央アーカイヴ (Zentra-

\* 関西学院大学社会学部教授

\*\* 関西学院大学大学院法学研究科博士課程

\*\*\* 慶応義塾大学大学院法学研究科博士課程

(1) M. デュヴェルジュ, 深瀬忠一ほか訳『社会科学の諸方法』勁草書房, 1968年, 93-94頁。

(2) 鮑戸弘「世論と政治行動の分析技法」『講座・情報社会科学14』学習研究社, 1975年, 44頁。

(3) S.M. リプセット, 鈴木広ほか訳『革命と反革命』サイマル出版会, 1972年, 14頁。

(4) B. ベレルソン「世論研究の系譜」『KYOWA AD-REVIEW』№51, 協和広告, 1970年, 52頁。

(5) I. De Sola Pool, Public Opinion, *Handbook of Communication*, Rand McNally College Publishing Company, 1973, p.817.

larchiv fur Empirische Sozialforschung), フランスのSOFRES, イスラエルの応用社会調査研究所(The Israel Institute of Applied Social Research)などは、広範な世論調査を継続的に実施するとともに、膨大な世論調査データを収集・整理・保存している専門機関として広く国際的に知られている。<sup>6)</sup> 以上のように、①世論調査が実施されるようになってすでに40年以上にもなる、②これまでに膨大な世論調査データが蓄積されてきた、③データ・バンクが利用できるようになってきた、ということによって、「世論の通時的(時系列的)変動の分析」への関心が高まってきている。<sup>7)</sup>

しかし、このような世論の時系列的分析を進めようとする場合、これまでつぎのような問題があった。①世論調査ではその時どきの争点をめぐって調査が行われるのが普通であり、そのような特殊な問題(たとえば具体的な政府の政策に対する賛否など)にくらべるとより一般的な問題(たとえば現在の各国の政治制度に対する評価など)についての質問がなされるということはほとんどない。<sup>8)</sup> ②世論調査において具体的な問題がとりあげられる場合にも、同じ問題についての質問が異なる時点で何度もくり返されるということは少ない。<sup>9)</sup> ③世論調査においてたまたま同じ問題についての質問がくり返されるということも稀である。<sup>9)</sup>

I. de・ソラ・プールは世論の変化をその日その日で変わる短期的な変化と徐々にある一定の方向にむかう長期的な変化に区別し、前者を「世論の天候(weather)」, 後者を「世論の気候(climate)」

と呼んでいる。<sup>10)</sup> 世論の変動の「短期的側面」と「長期的側面」についてはつぎのような点が指摘できる。①知的関心という点については、前者よりも後者の側面に焦点が置かれてきた。<sup>10)</sup> ②世論変動の理論の構築(世論の変動に関して何らかの規則性を発見し法則として定式化する)という点については、前者の側面は記述も予測もきわめて困難であるので、もっぱら後者の側面がとりあげられてきた。<sup>11)</sup> ③世論の動向に関するある観察によれば世論は一般に短期的に大きくランダムに変動するというよりもきわめて緩慢に少しずつある一定の方向にむかって変化していく傾向をもってしているとされる。<sup>12)</sup>

では、世論調査を継続的に実施するとともに調査データを収集・整理・保存することの価値はどこにあるかという点、それについてはつぎのようなことがあげられる。<sup>12)</sup>

(1)世論調査の結果を記録しておくならば現在史の重要なデータとなる。ごく最近まで歴史学の領域では調査データを利用することがなかったが、今日では若い研究者が世論調査法や態度測定法を歴史研究に応用するようになってきた。

(2)世論調査データの二次的分析の方法によって人間行動に関する諸命題が体系的に研究される。そこで世論調査データは政治学、社会学、心理学などの個別科学(discipline)にとっては実証的データの宝庫といえる。

(3)世論調査データを用いたシミュレーションによって選挙予測やさまざまな社会問題の発生の予測を行なうことができるようになる。

(4)各種の政府の政策に対する人びとの反応が客観

(6) G.D. Garson, *Handbook of Political Science Methods*, Second edition, Holbrook Press, Inc., 1976, pp.265-279.

(7) T. Peled, *Stability and Change of the Attitude Structure of the Israeli Public from Six Day War to December 1970*, (Unpublished Ph. D. Theses, Hebrew University), 1976, English Summary, p.2.

(8) J. Best, *Public Opinion: Micro and Macro*, The Dorsey Press, 1973, pp.137-138.

(9) R. S. Erikson and N. R. Luttbeg, *American Public Opinion: Its Origin, Content and Impact*, John Wiley and Sons, Inc., 1973, p.41.

(10) I. de. Sola Pool, *op. cit.*, pp.818-821.

(11) 鮑戸弘, 前掲論文, p.22.

(12) 拙稿「事件と世論」『関西学院大学社会学部紀要』, 第40号, 1980年, 498-499頁。

的に分析されることになる。これは「一般意志に政治をつねに一致させなければならないという一種の政治的自動制御機構へのやや強迫症的な要求」<sup>13)</sup>があるところでは重要な課題であるといわなければならない。

(5)世論調査データの時系列的分析をとうして世論に関する理論化が促される。たとえば、H. ハイマンはこのような分析によって「世論過程とよりマクロの諸要因——たとえば法、社会変動、人口動態など——との関係づけが可能」<sup>14)</sup>となり、「政治過程の分析を平行して行なうならば、単に世論形成の理論が導かれるにとどまらず、世論の政治過程への影響に関する理論も導かれることになるであろう」<sup>14)</sup>と述べている。

さて、本稿の目的は、以上のような世論調査データの利用の発展を踏まえて、ミシガン大学のICPSR (Inter-University Consortium for Political and Social Research) 保管のSRC全米選挙調査(American National Election Study)の磁気テープデータの内容と利用の方法を解説することにある。全米選挙調査にもとづいて社会科学の領域における多くの記念碑的な著作が物され<sup>15)</sup>、それらがその後の思索と研究に大きな刺激をあたえてきたことを考えるならば、この調査データの重要性はいくら強調してもしすぎることはないであろう。ICPSRはミシガン大学SRC (Survey Research Center)とアメリカ内外の諸大学間におけるデータ・バンクの共同利用と計量分析技法に関する情報の交換をその主要な活動内容としているが、同志社大学アメリカ研究所は1979年にこのコンソーシアムに加盟している。われわれは同志社大学アメリカ研究所の第五部門プロジェクト(三宅一郎教授を代表とする「現代アメリカ社会におけるデモクラシーの課題」というテーマに関する共同研究)に参加する

ことを通して、SRC全米選挙調査の磁気テープデータの利用が可能となった。しかし、社会科学のすべての領域における共通財産であるSRC全米選挙調査の磁気テープデータは、さらに多くの研究者によって広く利用されるべきものである。そのことを少しでも容易ならしめるために行ったのが今回の基礎作業である。これは、①SRC全米選挙調査の内容の整理、②SRC全米選挙調査の磁気テープの利用の方法、に分かれる。②については暫く措くとして、①については各選挙調査をとおしてつぎのような諸項目の検討が必要となる。

(i) サンプリングの方法は同じかどうか、(ii) 調査の方法は同じかどうか、(iii) 調査時期は一定しているかどうか、(iv) 同一あるいは類似の質問項目(変数)があるかどうか、(v) その質問項目(変数)のワーディングは同じかどうか、(vi) その質問項目(変数)のコード化の仕方は同じかどうか、などである。このような作業がきわめて繁雑であることはいうまでもなく、とくに(iv)～(vi)の作業に要する時間と労力は多大なものとなる。幸いミシガン大学のCPS (Center for Political Study)によって、すでに(iv)の作業がなされており、1976年にその報告書が、また1980年には改訂版も出されている(Continuity Guide to the American National Election Studies)。本稿は、CPSの作業を基礎において、1952年から1978年までに実施された13回の選挙調査のうち5回以上にわたって用いられている質問諸項目(変数)を抽出し、それらについて(v)と(vi)の作業を試みたものである。したがって以下のSRC全米選挙調査変数表にあげられている質問諸項目は不完全なものであり、最終的には利用者各自がICPSRのコードブックに目を通さなければならないということも付記しておきたい。

(13) 京極純一『政治意識の分析』東京大学出版会、1968年、12頁。

(14) H. H. Hymann, *Toward a Theory of Public Opinion*, *Communications and Public Opinion*, Preger Publishers, 1975, p. 99.

(15) 同志社大学アメリカ研究所計量データ委員会(三宅一郎、田口芳弘、馬場浩也、野林健)編、『ICPSRデータ・ア・カイヴ目録』、同志社大学アメリカ研究所、1979年、66-70頁に掲載されているRelated Publicationsを参照されたい。

## II SRC全米選挙調査の内容の整理

### (I) サンプリングと調査の時期

全米選挙調査 (American National Election Studies) は、1948年に開始され、1952年以降は、2年ごとに実施されてきている。(ただし、1948年、1954年調査はサンプル数が小さいため時系列分析に適さないと判断し、本稿では触れないことにした)

以下に、サンプリング方法、調査方法、調査の時期の各々について、各年度のコードブックの説明から得られた情報を要約しておく。

サンプリングの方式としては、各調査とも多段階抽出法を採用しており、調査地域の限定をしておいて、その後、その限定された地域の中から被調査者の含まれる世帯あるいは住宅を抽出していく方法をとっているという点では、すべての調査年度に一貫性がみられる。ただし、標本の抽出作業に利用する名簿(抽出の枠)の変化があり、被調査者 (respondents) の決定までの手続きに若干の差異がみられる。以下に、①(時間的順序通りではないが) コードブックにおいて比較的詳細に説明されている

1972年 - 1976年のサンプリング方法を説明し、続いて、②1970年以前および③1978年以降のそれぞれのサンプリング方法が①と異なっている点を説明する。

#### ① 1972年 - 1976年

本来は合衆国の全有権者を母集団とし、その中から被調査者が抽出されるべきである。しかし調査では全有権者の代りに、母集団は大陸部アメリカ全土の住宅 (housing units) と定義されている。(これは、日本とは選挙制度の異なるアメリカでは、全有権者を洩れなく記載した「選挙人名簿」のようなものを利用できないという事情によるものと思われる。) この母集団からサンプルとなる被調査者の住む住宅を抽出する手順は以下の通りである。

i) 第一次抽出単位 (Primary Sampling Units) となる74抽出地点 (1962年までは66地点) の抽

出。すなわち①大都市の代表12地点と、②層化抽出法により、全米を代表すると同時に北西部・北部・南部・西部の四地方を代表するように大都市以外の62地点とが別個に抽出される。

ii) 第二次抽出単位である市町村 (cities, towns, rural areas) が、各地点において抽出される。

iii) 第三次抽出単位である blocks, clusters of addresses, chunks が、ii) で抽出された市町村のすべての blocks, clusters of addresses, chunks of rural areas の中から抽出される。

iv) 第四次抽出単位は住宅群 (small segments or clusters of housing units) である。

v) このようにして限定された地域の全住宅の地図なり、リストなりを入手することは容易である。そのリストを用いて - アメリカ中の各住宅が同じ確率 (約 1/51,000) で抽出されるように - 一定数の住宅を無作為抽出する。(調査地域が限定されているということは、調査員が比較的接近した住宅を数軒まわられるという点で便利である)

vi) v) で抽出された住宅に住む有権者を1名選んで被調査者とする。(この選び方については客観的手続きに従ってとしか説明がない)

#### ② 1952年 - 1970年

母集団を①における全国の住宅 (housing units) に代えて、全国の世帯 (dwelling units) と定義し、1950年、60年に調査された世帯数をそれぞれ、1952、56、58、60年と1962、64、66、68、70年のサンプリングの基礎にしている。この点を除いて①と全く同じ手順でサンプリングを行なっている。

#### ③ 1978年以降

母集団の定義は①と同じ。第一次抽出単位の抽出法に変化がみられる。すなわち、下院選挙区を基礎に、地方、州、都市化の程度、最近の投票傾向に基づいて層化抽出を行なっているのである。

次に、これまで述べてきた相違点に加えて、1956年 - 1958年 - 1960年と1972年 - 1974年 - 1976年の二度のパネル調査 (同じ被調査者を2年ごとに追

跡調査していくもの)の実施にともなうサンプリングの特徴がある。<sup>1)</sup>これについても説明が必要であろう。

例えば1974年の場合で説明をすると、その年に新たに初めから前述の方法でサンプリングするのではなく、1972年に抽出されたサンプルを基本的には用いて調査を実施することになる。ところが、2年の間になんらかの理由で再質問が不可能になった被調査者や転居した被調査者が生じてくる。そのために1974年におけるサンプルの代表性に歪みが生じることになる。そこで、1974年に新たにサンプリングした場合と同様のサンプルに近づけるために、パネルサンプルの中から、72年の住宅(housing units—以下HUと略す)に住んでいないサンプルを除き、新たにサンプルを補充してやる必要がある。こうして構成されたサンプルが横断的(cross-section)サンプルとよばれている。補充サンプルは、72年には抽出されたHUに住む有権者のうち、72年には抽出される確率が0であった人によって構成される。その抽出手続は以下のようなものである。

72年に抽出されたHUの中で、①抽出されるべき場所に72年には建っていないか、リストからもれていたHUの1/3、②72年には空屋であったか、回答がなかったか選挙前調査のみに回答のあったHUの1/3、③パネルHUの1/3が抽出される。①、②および③の中で72年の被調査者がそこに住んでいないHUについては、そのHUに住む有権者の中から1人が選ばれ、③の中で72年の被調査者が住んでいてかつ72年以後有権者になった者がいるHUについては新しく有権者になった人の中から1人が選ばれる。

このようにして構成された補充サンプルの抽出確率はパネルサンプルのほぼ3分の1になっていると考えられる。そこで横断的サンプルが74年の有権者全体を代表するようにさせるため、補充サンプルに

ついては統計的に重みづけを行なって(74年の場合は3倍する)処理するようにデータセットが構成されている。利用者はNの解釈に注意を要する。(なお、WEIGHTING VARIABLE—74年の場合であればV 2003—の指定によって利用者が重みづけをしない数値を計算させることもできる)

調査法は、いずれの調査においても、被調査者に対する個別インタビューが実施され、調査員の手によってカードに記入(コード化)されるという方法が採られている。(ただし、ごく一部に郵送による回答の方法が採られたものもある)

調査の時期は大統領選挙のある年は選挙日の前1月半(9—11月)の間および選挙後の1月半(11—1月)の間の二時点である。選挙後の調査は、選挙前の調査と同一の被調査者に再度質問したものである。また、中間選挙の年には一度だけ秋(10—11月)に実施されている。(ただし1980年は別。これについては後述)

次に各調査年度のサンプル数等に関してまとめた表(表-1)を付す。各利用者は、必要な年度のデータセットの利用に際しては、表1において示されている、各年度に対応するICPSRナンバーのデータセットを使用し、同ナンバーのコードブックを参照されたい。

なお各年度ごとに質問文がどの程度違うかを確認する際の便を考えて、後に付すSRC全米選挙調査変数表ではコードブックに付録として載っている質問票中の質問文番号を記している。しかし年度によってはコードブックに質問票が付されていないものもある。表1の質問票の有無の欄に無と記された年度のコードブックには質問票の付録が無い。これらの年度についてはコードブックの各変数の説明の中に書かれている質問文で代用することが可能である。

(1) これらのパネル調査については、American Panel Study: 1956, 1958, 1960 (ICPSR 7252) および American National Election Series: 1972, 1974, 1976 (ICPSR 7381) が別にある。

〔表1〕

調査年度	ICPSR ナンバー	サンプル数	変数	質問票 の有無	調査実施機関
1948	7218	662	50		ミシガン大SRC
1952	7213	1899 (pre 1799) (post 1714)	237	有	SRC
1956	7214	1762 (reinterview 579)	298	無	SRC
1958	7215	1450 (weighted 1822)	268	無	SRC
1960	7216	1181 (weighted 1954) both pre-post 1807	274	有	SRC
1962	7217	1297	102	有	SRC
1964	7235	1571 (Negro supplement 263 weighted 4658)	466	有	SRC
1966	7259	1291	242	無	SRC
1968	7281	Pre 1557 cross-section Black sample 265 Post 1384(36mail) Black sample 225	536	有	SRC
1970	7298	Cross-section 1580 (eligible 1507) Black sample 272	403	有	CPS
1972	7010	Pre 2705 (1372 Form I) (1333 Form II) Black 267 Post 2191 (1119 Form I) (1072 Form II) (うち 94 mail)	約 1000	有	CPS
1974	7355	1575 weighted 2523	560	有	CPS
1976	7381	Pre 2248 weighted 2868.5 Post 1909 2403	952	有	CPS
1978	7655	2304	約 1400	有	CPS
1980	7763	1614	1350	有	CPS

## (2) 変数の内容

表3にあげた諸変数は、前述のContinuity Guide (1978年までを整理している。)から5回以上に渡って用いられている変数を選び、(1980年調査項目を加えて)どの年度にどの変数があるかを整理して示したものである。表の左端に記した変数の内容を表わした変数名はほぼContinuity Guideに従った。1978年のデータセットのラベル・ネームはほぼこれに一致するが、以前のは年度ごとに異なっており、統一されていない。(一例をあげると、60年のRS PARTY ALLEGIANCEは70年にはPARTY ID AND STRENGTHとなっている。)

変数名の行と、各年度の列の交差したセルの上段に変数番号、下段にその変数に対応する質問文の番

号が記入されている。(QやAなどが頭に付いている数字が質問文の番号である。)

この変数表は、とくに時系列分析を試みる研究者の労力を軽減することを考慮して作成されたものである。各利用者が各自の分析目的に応じて、どの変数を、そしてどの年度を選ぶかの見当をつけるためにこの表を利用されるだけでなく、各質問項目のワーディングやコード化についての詳しい検討を行う際の基礎台帳として利用されたり、更には、各自の分析目的に必要なデータ・ファイルを作成する際のインデックスとして利用されることを期待している。

なお、1980年については全米選挙調査シリーズの同じ様式のコードブックが入手できなかったため、American National Election Studies Integrated Dataset Codebookを代用した。

(2) 1980年調査は表2のとおり行なわれた。

(3) コード化は、必ずしも各年度同一のものが用いられてはいないことには注意を要する。一例をあげれば、政党帰属についても、

1952年には、	00	R IS APOLITICAL
	10	DEMOCRAT
	40	INDEPENDENT
	70	REPUBLICAN
	90	OTHER
	97	REFUSED TO ANSWER
	98	DK
	99	NA
1964年には	0	Strong Democrat
	1	Not Very Strong Democrat
	2	Independent Closer to Democrat
	3	Independent - Independent
	4	Independent Closer to Republican
	5	Not Very Strong Republican
	6	Strong Republican
	7	Other
	8	Apolitical
	9	NA

のように分類され、1972年から80年までのように、1964年型と、同時に、1952年型によく似た、

1	REPUBLICAN
2	INDEPENDENT
3	NO PREFERENCE
4	OTHER
5	DEMOCRAT
8	DK
9	NA

のようなコード化を行なっている年もある。

このように、コード番号および分類ラベルに相違はあるにしても、おおむね上記の1952年型か1964年型のいずれか、あるいは両方のタイプの分類を含んでいるといえよう。(変数表において、変数番号が複数あるものには、同一の内容がコード化の相違によって複数の変数で表わされているものもある。)

コード化の同一性に関する詳しい情報は稿を改めて提供したいと考えている。

1980年は、従来の選挙前後1月半の調査に加えて1年間に渡るパネル調査が組み合わされ、各々質問票のタイプも異なる。<sup>2)</sup> 同じ質問に関する回答であっても調査時期ごとに別の変数としてまとめられる。そこで、Integrated Dataset Codebook では、同内容の変数がまとめられて、それらの変数番号とともに項目番号 (Item Number) がつけられている。次の表3に示された1980年の上段の数字は変数番号ではなく、この項目番号である。

表中の数字の後に△が付されているものは、その変数が選挙後の調査に対する回答を集計したものであることを示している。その他の印については注に

説明しておく。

なお、各変数は内容は同じでも年度によって異なるコード化が行われているものもあるが、これについては確認作業中とくに目立ったものについてのみ注に記しておく。<sup>3)</sup>

(以下は表3中の注4から注11)

- (4) \*印は、次のような性格の変数である。1952, 56年は、選挙後のインタビューを受けたサンプルの中で再インタビューを受けた一部のサンプルに対するもの。1970年は質問のタイプIに対するもの。1972年は、Form Iに対するものである。1970年タイプIIには\*\*を付した。  
◎印は、1972年のFrom IIの質問形式に対するものを選挙後調査のうちで区別して示した。(タイプI, Form I, Form IIについてはコードブックを参照のこと。)
- (5) 年令は、インタビュー時のもの。ただし、1974年は選挙当日の年令、1976年、1978年は、1976年の11月1日当日のものである。生年月日から年令はコード化されている。(ただし、1956, 58, 60年は本人の回答した年令。)
- (6) 人種集団のコードは、以下の分類に従ってつけられている。
- |             |  |
|-------------|--|
| 1952 - 1964 | White<br>Negro<br>Other, includes Mexicans, Puerto Ricans, Asians  |
| 1966 - 1976 | White<br>Negro (Black in 1972-76)<br>Puerto Rican<br>Mexican - American, Chicano (Mexican in 1966)<br>Oriental<br>American Indian<br>Other                             |
| 1978 - 80   | White<br>Black<br>American Indian or Alaskan Native Asian or Pacific Islander<br>Hispanic Origin<br>(Mexican - American, Chicano)<br>(Puertorican)<br>(Other Hispanic) |
- (7) 1958年までは宗教は、Catholic, Protestant, Jew, Other; Noneでコード化されている。1960年からはCPS宗教コードによって、より詳しく分類されている。
- (8) 職業は、1956-64年は、Political Behavior Occupation Codeを用い、約50に分類している。1966-74年は、1960 Census of Occupationの分類に従い、500-600に分類している。(コードはPolitical Behavior Occupation Code) 1976年からは、1970 Census Occupation Codeに従っている。
- (9) 1972年以来、主婦も学生も、週平均20時間以上働いたものは、“Working Now”としてコード化されている。
- (10) 産業については、1966-74年は1960 Census Industrial Classification Systemに従い、1976年以降は、1970 Census Classificationを利用している。
- (11) 下段の質問文の番号のみが空欄になっている箇所は、調査者の方でチェックしたもの。したがって質問文はない。



表 2

DESIGN FOR AMERICAN NATIONAL ELECTION STUDY 1980 DATA COLLECTION													
National Election Studies Center for Political Studies April 1981													
	1980 Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.	1981 Jan.
<u>PANEL SAMPLES</u>													
<u>MAJOR PANEL</u>		← P-1 →				P-2			← P-3 →		P-4		
Cases		1008				843			769 #		764 # *		
		Full National Cross- Section; Year-long Major Panel, First Wave				Second Major Panel Inter- views			Third Major Panel Inter- views		Fourth Major Panel Inter- views		
<u>MINOR PANEL</u>				C-1							C-4		
Cases				965							818 *		
				Full National Cross- Section; Minor Panel, First Wave							Second Minor Panel Inter- views		
<u>TRADITIONAL TIME-SERIES</u>									← C-3 →		← C-3Po →		
Cases									1614		1408		
									Full National Cross- Section; Time Series Panel, First (PRE) Wave		Second (POST) Time Series Panel Interviews		
TOTAL		1008		965		843			2383		2990		
<u>CROSS-SECTION SAMPLES</u>		(P-1)		(C-1)					(C-3)				
Cases		(1008)		(965)					1614				
		New Cross-Section		New Cross-Section					New Cross-Section				
<u>AHILLARY COLLECTIONS</u>													Respondents' Registration and Vote Validation; 1980 Election Returns
													# Includes reinterviews with P-1 respondents who did not participate in preceding wave.
													* Telephone reinterviews

〔表 3〕

S R C 全 米 選

	1952	1956	1958	1960	1962	1964
I 政党・候補者に関する諸変数						
A 政党帰属 (PARTY IDENTIFICATION)						
1 本人の政党帰属  (民主党または共和党の場合)	58,237 Q 28	88 Q 22,22a, e	62 Q 28,28a, h	91,269 △ Q 36,36a, e Q 23a, b	35 Q 34 Q 34a, b, c	146 Q 51,51a, e
政党帰属の強さ	59 Q 28a	88 Q 22, 22a, e	62 Q 28,28a, h	91 Q 36,36a, e		146 Q 51,51a, e
過去に他政党に属したか	60 Q 28b	89 Q 22b, f	63 Q 28b, i, j	92 Q 36b, f, g		147 Q 51f
変化の時期	61 Q 28c	90,91 Q 22c, g	64 Q 28c, k	93 Q 36c, h		148 Q 51c, h
変化の理由		92 Q 22d, h	65 Q 28d, l	94 Q 36d, i		149 Q 51d, i
(帰属なし(INDEPENDENT), 他政党の場合)						
民主党・共和党のどちらに近い か	64 Q 28f	88 Q 22, 22a, e	62 Q 28,28a, h	91 Q 36,36a, e		146 Q 51, Q 51a, e
過去の民主党または共和党 への帰属の有無	65 Q 28g, h	89 Q 22b, f	63 Q 28b, i, j	92 Q 36b, f, g		147 Q 51 Q 51b, f, g
どちらの党				92 Q 36b, f, g		147 Q 51 Q 51f, b, g
変化の時期	66,67 Q 28i	90,91 Q 22c, g	64 Q 28c, k	93 Q 36c, h		148 Q 51c, h
変化の理由		92 Q 22d, h	65 Q 28d, l	94 Q 36d, i		149 Q 51d, i
2 両親の政党帰属						
父親の政治的関心			68 Q 29			150 Q 52
父親の政党選好	68 Q 29		69 Q 30			151 Q 53

### 挙 調 査 変 数 表

1966	1968	1970	1972	1974	1976	1978	1980
82 C9,9a-c	119 Q46	184 Q55 Q55a, f, j	140, 141 E1, 1a 1j, 1e	2201, 2204 F1, 1a, b, j	3168, 3174 D1, 1a, e, D2	426, 433 E1, 1a, e, E2	351, 352 D1, 2
82 C9,9a, b, c	120 Q46a, d, g	184 Q55 Q55a, b, j	142 E1a, e	2202 F1a, e	3169 D1, a, e	427 E1a, e	353 D2a, d
	121 Q46b, e, h, l, j	185 Q55c, d, k, l, m	143 E1b, f	2205 F1b, f	3170 D1b, f	428 E1b, f	
	122 Q46c, f, i, k, m	186 Q55e, n	146 E1d, h	2207 F1d, h	3172 D1d, h	430 E1d, h	
		187 Q55f, o					
82 C9,9a - c	120 Q46a, d, g	184 Q55 Q55a, b, j	147 E1j	2203 F1j	3173 D1, D2	432 E2	372 D2g, n
	121 Q46b, e, h, l, j	185 Q55c, d, k, l, m	149 E1n	2209 F1n	3176 D1, D2, 2d	435 E2d	
			148 E1k, q	2208 F1k, q	3177 D1, D2, 2b, g	436 E2b, g	
	122 Q46c, f, i, k, m	186 Q55e, n	151 E1m, r, p	2210 F1m, r, p	3178 D2b, c, e, h	437 E2c, e, h	
		187 Q55f, o					
	123 Q47		152 E2		3201 D6		
	124 Q48	192 Q56	153 E3		3202 D7	439 E3	401 D5a

	1952	1956	1958	1960	1962	1964
母親の政治的関心			70 Q 31			152 Q 54
母親の政党選好	69 Q 29		71 Q 32			153 Q 55
<b>B 政党の評価 (EVALUATION OF PARTIES)</b>						
1 民主党						
どこが好きか	18 Q 4	15 Q 3	15 Q 2	20 Q 3		21 Q 3
どこが嫌いか	19 Q 5	16 Q 4	16 Q 3	21 Q 4		22 Q 4
2 共和党						
どこが好きか	20 Q 6	17 Q 5	17 Q 4	22 Q 5		23 Q 5
どこが嫌いか	21 Q 7	18 Q 6	18 Q 5	23 Q 6		24 Q 6
3 民主党と共和党の相違点	17 Q 3			229-231△ Q 31, 31c		298△, 299△ Q 17, 17a, b
4 政党の保守性						
保守性の差の有無				232 △ Q 32, 32a, c, d		302 △ Q 18, 18a, c, d
より保守的な政党名				232 △ Q 32, 32a, c, d		302 △ Q 18, 18a, c, d
その理由				233-234△ Q 32b, e		303△, 304△ Q 18b, e
<b>C 候補者の評価 (EVALUATION AND KNOWLEDGE OF CANDIDATES)</b>						
1 大統領候補の評価						
民主党候補者支持の理由	27 Q 10	19 Q 7		24 Q 7		25 Q 7
民主党候補者反対の理由	28 Q 11	20 Q 8		25 Q 8		26 Q 8
共和党候補者支持の理由	29 Q 12	21 Q 9		26 Q 9		27 Q 9
共和党候補者反対の理由	30 Q 13	22 Q 10		27 Q 10		28 Q 10
大統領の職務遂行の評価						

1966	1968	1970	1972	1974	1976	1978	1980
	125 Q 49		154 E 4		3203 D 8		
	126 Q 50	193 Q 57	155 E 5		3204 D 9	440 E 4	402 D 5b
	28 Q 3		30, 31 * A 6, A 6a, b	(注 4)	3087-3092 A 20, 20a, b	90-95 A 8, 8a	403, 404 D 6, 6a, b
	29 Q 4		32, 33 * A 7, 7a, b		3093-3098 A 21, 21a, b	96-101 A 9, 9a	405, 406 D 7, 7a, b
	30 Q 5		34, 35 * A 8, 8a, b		3099-3104 A 22, 22a, b	102-107 A 10, 10a	407, 408 D 8, 8a, b
	31 Q 6		36, 37 * A 9, 9a, b		3105-3110 A 23, 23a, b	108-113 A 11, 11a	409, 410 D 9, 9a, b
80, 81 C 8, 8a	345△, 346△ Q 36		498 * C 10		3184-3192 D 4, 4a, c		411 D 10
	361 △ Q 37, 37a, c, d	174 Q 54	499 * C 11		3193 D 5		
	361 △ Q 37, 37a, c, d	175 Q 54a, d	500 * C 11a, b		3194 D 5a, c		
	362-367△ Q 37b, e	178-183 Q 54d, e			3195-3200 D 5d		
	32 Q 7		38, 39 * A 10, 10a, b		3111-3116 A 24, 24a, b		223, 224 C 7
	33 Q 8		40, 41 * A 11, 11a, b		3117-3122 A 25, 25a, b		225, 226 C 8
	34 Q 9		42, 43 * A 12, 12a, b		3123-3128 A 26, 26a, b		219, 220 C 5, 5a, b
	35 Q 10		44, 45 * A 13, 13a, b		3129-3134 A 27, 27a, b		221, 222 C 6, 6a, b
	47 Q 15		46 * A 14	2157 C 7	3135 A 28	441 F 1	

	1952	1956	1958	1960	1962	1964
<p>2 下院議員候補についての知識</p> <p>下院候補の名前と所属政党</p> <p>(名前)</p> <p>(政党)</p> <p>候補者を両党とも出していたか</p> <p>当選者</p>			<p>95 Q 47, 47a, b</p> <p>95, 255 Q 47a, b, c</p> <p>97 Q 48</p>			<p>307 △ Q 21, 21a</p> <p>308 △ Q 21b</p> <p>312 △ Q 23</p>
<p>3 大統領候補者に対する感情</p> <p>Hubert Humphrey</p> <p>Edward "Ted" Kennedy</p> <p>Richard Nixon</p> <p>Ronald Reagan</p> <p>George Wallace</p>						
<p>I 世論とイデオロギーに関する諸変数</p>						
<p>A 自由主義／保守主義尺度 (LIBERAL/CONSERVATIVE POLITICAL VIEWS SCALE)</p> <p>本人のポジション</p> <p>民主党のポジション</p> <p>共和党のポジション</p>						
<p>B 争点——社会福祉 (ISSUES - SOCIAL WELFARE)</p> <p>1 教育問題</p> <p>連邦政府の教育費援助の必要性</p> <p>2 保険・医療問題</p>		<p>58 Q 12i</p>	<p>27 Q 14a</p>	<p>58 Q 20a</p>	<p>55 Q 45, 45a</p>	<p>66, 67 Q 15, 15a, b</p>

1966	1968	1970	1972	1974	1976	1978	1980
88, 89 C 13, 13a	378△, 379△ Q 41, 41a	202 Q 61	945 * U 3	2214 F 3		115 A 13	
		203 Q 61a	946 * U 3a	2215-2217 F 3a		116, 119, 122 A 13a	
		204 Q 61b	947 * U 3b	2218-2220 F 3b		117, 120, 123 A 13b	
91 C 13b	381 △ Q 41b	206 Q 62	948 * U 3c	2221 F 3c			
93 C 14	383 △ Q 42					180, 181 A 21, 21a	
	479 △ Q 71b	230 Q 74b	264 H 1n	2352 L 1r	3300 G 1d		
		235 Q 74g	258 H 1d	2347 L 1k	3302 G 1f	140 A 16e	198 C 2d
	480 △ Q 71c	231 Q 74c	255, 702 △ H 1c, K 1b	2354 L 1t	3307 G 1m	142 A 16g	210 C 2p
	482 △ Q 71e	233 Q 74e			3301 G 1e	139 A 16d	196 C 2b
	478 △ Q 71, 71a	229 Q 74, 74a	253, 701 △ H 1, 1a, K 1, 1a	2338 L 1, 1a	3297 G 1, 1a	136 A 16, 16a	
			652 △ J 8, 8a, 11, 11a	2305 J 11, 11a	3286 F 12, 12a	399 C 17, 17a	451 A, B E 1, 1a, 2
			656 △ J 8e, 11e	2309 J 11e	3289 F 12d	401 C 17c	464 E 1y
			657 △ J 8f, 11f	2310 J 11f	3290 F 12e	402 C 17d	463 E 1x
	60 Q 17, 17a						

	1952	1956	1958	1960	1962	1964
低額医療費の政府援助を促す 政党		38 Q 12d		66 Q 24a	57, 58 Q 46, 46a	74 Q 17, 17a
尺度上の本人のポジション						
尺度上の民主党のポジション						
尺度上の共和党のポジション						
3 失業・生活水準問題						
政府の完全雇用保障の当否		32 Q 12b	23 Q 12a	54, 235△ Q 18a, 33, 33a		78 Q 18, 18a
4 都市不安問題						
尺度上の本人のポジション						
C 争点 — マイノリティ関係 ( ISSUES — MINORITY RELATION )						
1 市民権運動の評価						
社会内の黒人の地位の実質的 変化						104 Q 24a
市民権運動						105 Q 24b
2 黒人隔離制撤廃問題 ( Attitudes toward Desegregation )						
隔離制撤廃に好感をもつ黒人 の割合						125 Q 39
隔離制撤廃に好感をもつ白人 の割合						126 Q 40
本人の意見						127 Q 41
3 社会活動計画 (Social Action Program)						
対マイノリティ集団政府援助 尺度上の本人のポジション						
尺度上の民主党のポジション						
尺度上の共和党のポジション						
学校統合 (School Integ- ration) は政府の仕事か		74 Q 12p	35, 36 Q 18a, b	70, 71 Q 25a, b	61, 62 Q 47, 47a	100, 101 Q 23, 23a



1966	1968	1970	1972	1974	1976	1978	1980
	64 Q 19, 19a	134 Q 28, 28a	208 * G 5, 5a		3273 F 9, 9a	381 C 15, 15a	519 E 32, 32a
		135 Q 28b	212 * G 5e		3276 F 9d	383 C 15c	529 E 32v
		136 Q 28c	213 * G 5f		3277 F 9e	384 C 15d	528 E 32x
	66 Q 20, 20a						568 E 39, 39a
	464 △ Q 66e	85 Q 21, 21a	670 △ J 6, 6a, 12, 12a	2273 J 6, 6a	3767 △ Q 6, 6a		
42 A 8	80 Q 26	70 ** Q 13	111 D 4	2264 J 1	3212 E 4		
43 Q 9	81 Q 27	71 ** Q 14	112 D 5		3213 E 5		636 E 56
	86 Q 31	74 ** Q 17	116 D 9		3215 E 7		
	87 Q 32	76 ** Q 18	117 D 10		3216 E 8		
	88 Q 33	77 ** Q 19	118 D 11		3217 E 9	444 F 3	
		106 Q 24, 24a	629 △ J 6, 6a, 9, 9a Q 14, 14a, 17, 17a	2296 J 9, 9a	3264 F 8, 8a	373 C 14, 14a	589 E 43, 43a
		107 Q 24b	633 △ J 6e, 9e	2300 J 9e	3267 F 8d	375 C 14c	597 E 43y
		108 Q 24c	634 △ J 6f, 9f	2301 J 9f	3268 F 8e	376 C 14d	596 E 43x
25, 26 A 3, 3a	75, 76 Q 24, 24a	61-63 ** Q 10, 10a	105, 106 D 2, 2a		3210, 3211 E 3, 3a	442, 443 F 2, 2a	

	1952	1956	1958	1960	1962	1964
学校統合問題に好意的な政党				73 Q 25d		103 Q 23c
連邦政府は黒人の職業上の公正な扱いに気をつけるべきか	47, 48 Q 22, 22a-d	44 Q 12f	31 Q 16a	62 Q 22a		97 Q 22, 22a
居住区からの黒人入居しめ出しについての意見						116 Q 31
<b>D 争点 — 経済問題 (ISSUES — ECONOMIC)</b>						
<b>1 家計 (Personal Financial Situation)</b>						
楽になったか					14 Q 1	
来年は楽になるか		80 Q 17	51 Q 22	77 Q 28	17 Q 14	131 Q 44
家計状況への選挙の影響	25, 26 Q 9, 9a	82, 83 Q 18, 18a	55 Q 24, 24a	79, 80 Q 29, 29a		133, 134 Q 45, 45a
<b>2 景気 (Business Conditions)</b>						
国の経済状況はよくなるか					22 Q 12	
以前よりよくなったか					23 Q 13	
来年はよくなるか					31 Q 19	
来年からの5年間はよい景気か					32 Q 20, 20a	
<b>3 農産物価格 (Farm Prices)</b>						
過去4年の変動幅		236 △ Q 33, 33a	199 Q 17, 17a	147 PD 17, 17a		225 P 36, 36a
政府政策の価格への影響		237 △ Q 34	200 Q 18	148 PD 18		226 P 37
価格維持や生産制限を政府が行うべきか		141 Q 37b	201 Q 19	149 P 19		227 P 38
<b>E 争点 — 外交問題 (ISSUES — FOREIGN RELATIONS)</b>						
<b>1 孤立主義的態度</b>	51 Q 24	35 Q 12c	25 Q 13a	56 Q 19a		
<b>2 朝鮮 (ベトナム) 戦争参戦の正当性</b>	54 Q 26					350 △ Q 39, 39a
朝鮮 (ベトナム) 戦争の処理	55 Q 27					351 △ Q 39b

1966	1968	1970	1972	1974	1976	1978	1980
29 A3c	77 Q 24b	64 ** Q 10b					
152,154 C 43, 43a	73 Q 23, 23a		103, 104 D1, D1a				
	84 Q 30	68 ** Q 12	115 D 8		3214 E 6		
44 A 10	275 △ Q 1	48 * Q 5	501 * D 1	2313 J 12	3137 B 1	321 B 7	474 E 11
47 A 12	278 △ Q 3	50 * Q 7	504 * D 3	2314 J 13	3138 B 2	322 B 8	475 E 12
	68, 69 Q 21, 21a	51-57 * Q 8, 8a	53 * B 4				
50 A 15	283 △ Q 6		505 * D 4	2315 J 14		338 B 10	480 E 17
52 A 16	286 △ Q 8		507 * D 5		3139 B 3		
54 A 18	288 △ Q 10		509 * D 7		3140 B 4	339 B 11	481 E 18
57 A 20, 20a	285 △ Q 7, 7a		511 * D 9	2316 J 15			
212 D 10, 10a	197 P 5c, d						
213 D 11	198 P 5e						
214 D 12	199, 200 P 5f, g						
	522 △ Q 94f		291 J 20		3926 △ L 7, 7a		
35 A 5, 5a	103 Q 38a	41 Q 2a	50 B 1				
36, 37 A 5b	104, 105 Q 38b	42, 43 Q 2a, b					

	1952	1956	1958	1960	1962	1964
3 海外経済援助		41,71 Q 12e, o	29 Q 15a	60,236△ Q 21a, 34		84 Q 20, 20a
F 争点—人権問題 (ISSUES—CITIZEN RIGHTS)						
1 被疑者(Accused)の権利  尺度上の民主党のポジション  尺度上の共和党のポジション						
2 政府の権限の配分  ワシントン政府の権限は強すぎるか  強い政府を望む政党						71 Q 16, 16a  73 Q 16c
G 社会問題 (SOCIAL PROBLEMS)						
最重要国内問題				50,228△ Q 16, 30, 30a		36, 41, 46 Q 13a, b, c, g, h, m, n
■ 政治体系への支持的態度に関する諸変数						
A 政治過程に対する態度 (ATTITUDS IN GOVERNMENT)						
1 政府に対する信頼  政府関係者は不正直  政府の税無駄使い  政府は常に正しいと信じられるか  政府関係者は有能か  政府は一部の利益のために働くか			155 Q 72.(1)  156 Q 72.(2)  157 Q 72.(3)  159 Q 72.(5)  158 Q 72.(4)			401△ Q 62  402 △ Q 63  403 △ Q 64  404 △ Q 65  405 △ Q 66
2 内的政治的有効性感覚  国民は政府のしていることに何も言わない  投票だけが政府への影響手段	123 Q 47g	108 Q 32a		107 Q 45, 45a		174 Q 65, 65a  175 Q 65b

1966	1968	1970	1972	1974	1976	1978	1980
	96 Q 35, 35a		292 J 21		3927 △ L 7b		
21 A 2, 2a	62 Q 18, 18a  63 Q 18b	58, 59 Q 9, 9a	621 △ J 5, 5a, 8, 8a Q 13, 13a, 16, 16a  625 △ J 5e, 8d  626 △ J 5f, 8e  55, 57◎ B 3, 3a  58◎ B 3b	2281 J 7, 7a  2284 J 7d  2285 J 7e	3248 F 6, 6a  3251 F 6d  3252 F 6e  3224, 3225 F 2, 2a  3226 F 2a, 2b	365 C 13, 13a  367 C 13c  368 C 13d  453, 454 F 12, 12a  456 F 12c	632, 633 E 55, 55a  635 E 55c
19 A 1	48, 52, 56 Q 16, 16e, j	39 Q 1	546◎ E 2, 2a	2075-2077 E 2, 2a	3685-3687△ E 1, 1a	311-313 B 2	
173 C 50	507 △ Q 90  503 △ Q 86  504 △ Q 87  506 △ Q 89	154 Q 37  150 Q 33  151 Q 34  153 Q 36	98◎574 937△ C 31, H 5, 8 T 6  89◎ 570 △ C 27, H 1, Q 4  90◎ 571 △ C 28, H 2, Q 5  92◎ 573 △ C 30, H 4, Q 7	2233 G 14  2229 G 10  2230 G 11  2232 G 13	3166 C 5  3162 C 1  3163 C 2  3165 C 4	350 C 5  346 C 1  347 C 2  349 C 4	923 D 20  428 D 16  429 D 17  431 D 19
176 C 53	505 △ Q 87	152 Q 35	91◎ 572 △ C 29, H 3, Q 6	2231 G 12	3164 C 3	348 C 3	430 D 18
115 C 22	144, 517 △ Q 60, 94a	144 Q 32, 32a	269, 559 ◎ J 1, G 1	2222 G 1	3815 △ H 1	351 C 6	421 D 15a
116 C 23	142, 518 △ Q 58, 94b	145 Q 32b	270, 560 ◎ J 2, G 2	2223 G 2	3816 △ H 2	352 C 7	422 D 15b

	1952	1956	1958	1960	1962	1964
政治は複雑すぎて理解できない	125 Q 47 i	112 Q 32e		111 Q 45e		176 Q 65c
3 外的政治的有効性感覚						
政府関係者は国民の考えに注意払わぬ	118 Q 47b	115 Q 32h		114 Q 45h		177 Q 65d
国会議員は選挙民との接触を失う						
政党は国民の票にしか関心がない						
4 市民的義務						
勝てないとわかっているときの投票は重要ではない	117 Q 47a	110 Q 32c		109 Q 45c		
地方選挙は重要ではない	121 Q 47e	114 Q 32g		113 Q 45g		
多くの人が投票するならば、自分の票は重要ではない	122 Q 47t	111 Q 32d		110 Q 45d		
選挙結果に関心がないなら投票すべきでない	124 Q 47h	113 Q 32f		112 Q 45f		
<b>B 政府の応答性 (PERCEIVED GOVERNMENT RESPONSIVENESS)</b>						
政府の国民の意見への関心						390 △ Q 51
政府の国民の意見反映に対する政党の影響力						391 △ Q 52
選挙の影響力						392 △ Q 53
国会議員の選挙民への関心						398 △ Q 54
<b>C 抗議活動への反応 (REACTION TO PROTEST ACTIVITIES)</b>						
政府の通常活動を停止されるような抗議デモへの参加の評価						
<b>IV 政治参加と政治関与に関する諸変数</b>						
<b>A 政府および公的問題への関心 (INTEREST IN GOVERNMENT AND PUBLIC AFFAIRS)</b>						
1 本人の関心度				115, 225 △ Q 46, 27	40 Q 39	324 △ Q 28
2 最近の政治的キャンペーンの関心	44 Q 20	97 Q 27	75 Q 36	98, 224 △ Q 40, 26	39 Q 38	157, 323 △ Q 59, 27

1966	1968	1970	1972	1974	1976	1978	1980
117 C 24	143, 519 △ Q 59, 94c	146 Q 32c	271, 561 ◎ J 3, G 3	2224 G 3	3817 △ H 3	353 C 8	423 D 15c
118 C 25	141, 520 △ Q 57, 94d	147 Q 32d	272, 562 ◎ J 4, G 4	2225 G 4	3818 △ H 4	354 C 9	424 D 15d
	521 △ Q 94e	148 Q 32e	273, 563 ◎ J 5, G 5	2226 G 5	3819 △ H 5	355 C 10	425 D 15e
	523 △ Q 94g	149 Q 32f	274, 564 ◎ J 6, G 6	2227 G 6	3820 △ H 6	356 C 11	426 D 15f
			287 J 16		3348 H 1	422 D 7	433 D 21, 21a
			290 J 19		3351 H 4	425 D 10	436 D 21d
			288 J 17		3349 H 2	423 D 8	434 D 21b
			289 J 18		3350 H 3	424 D 9	435 D 21c
	490 △ Q 72	155 * Q 38	94◎, 575 △ C 32, H 6	2234 G 15	3741 △ F 6	416 D 1	437 D 22
	491 △ Q 73	156 * Q 39	95◎, 576 △ C 33, H 7	2235 G 16	3742 △ F 7	417 D 2	438 D 23
177 C 54	492 △ Q 74	157 * Q 40	96◎, 577 △ C 34, H 8	2236 G 17	3743 △ F 8	418 D 3	439 D 24
	493 △ Q 75	158 * Q 41	97◎, 578 △ C 35, H 9	2237 C 18	3744 △ F 9	419 D 4	440 D 25
	476 △, 477 △ Q 70, 70a	143 * Q 31	277 J 9	2240 G 22	3909 △ K 6		
64 C 2	430 △ Q 55		476 △ B 8, 14	2027 A 2	3599 △ C 1	310 B 1	(975) (Z 7)
87 C 12	130 Q 52	201 Q 60	163 F 1		3031 A 6	43 A 1	1 A 1

	1952	1956	1958	1960	1962	1964
大統領の当選予想	13 Q 1	12 Q 1		17 Q 1		18 Q 1
小差か大差か	14 Q 1a	13 Q 1a		18 Q 1a		19 Q 1a
どちらの党が勝つかに関心があるか	41 Q 18	14 Q 2	14 Q 1	19 Q 2		20 Q 2
<b>B 政治活動への参加 (PARTICIPATION IN POLITICAL ACTIVITIES)</b>						
1 キャンペーン活動： 集会への出席	205 △ Q 22c	217 △ Q 17c		217 △ Q 24d, e	51 Q 44c	314 △ Q 24c, d
政治クラブへの所属	207 △ Q 22e	219 △ Q 17e		219 △ Q 24g	53 Q 44e	316 △ Q 24f
キャンペーン・ボタンの着用 カースティックの使用		220 △ Q 17f		220 △ Q 24h	54 Q 44f	317 △ Q 24g
政党や候補者のために他の仕事をしたか	206 △ Q 22d	218 △ Q 17d		218 △ Q 24f	52 Q 44d	315 △ Q 24e
2 他人の投票への影響						
投票に影響を与えるための会話の経験の有無	203 △ Q 22, 22a	215 △ Q 17, 17a	76 Q 37	215 △ Q 24, 24a, b	49 Q 44, 44a	313 △ Q 24, 24a, b
誰と				215 △ Q 24a, b, 24		313 △ Q 24, 24a, b
3 キャンペーンへの寄与・勧誘・ 寄付金	204 △ Q 22b	216 △ Q 17b		216 △ Q 24c	50 Q 44b	335 △ Q 33, 33a
寄付をした政党						336 △ Q 33b
<b>C 投票行動 (VOTING BEHAVIOR)</b>						
1 投票パターン						
大統領選挙投票回数	71 Q 30	93 Q 23	72 Q 33	95 Q 37	36 Q 35	154 Q 56
同一政党への投票か	72 Q 31, 31a	94 Q 24, 24a	73 Q 34, 34a	96 Q 38, 38a	37 Q 36, 36a	155 Q 57, 57a
前回の投票	76, 179 Q 33, 33a, 39, 39a	95, 96 Q 25, 25a, 26, 26a	74 Q 35, 35a	97 Q 39, 39a	38 Q 37, 37a	156 Q 58, 58a
登録政党	77 Q 34, 34a	98 Q 28, 28a		99 Q 41, 41a		158 Q 60, 60a
2 大統領選挙						
11月の投票に行くか	79 Q 35	99 Q 29		100 Q 42		159 Q 61



1966	1968	1970	1972	1974	1976	1978	1980
	25,336 △ Q 1, 29		25 A 1		3026 A 1		2 A 2
	26,337 △ Q 1a, 30		26 A 2		3027 A 2		3 A 2a, c, d
	27 Q 2	164 Q 47	29 A 5	2026 A 1	3030 A 5	114 A 12	
	397 △ Q 46, 46a	169 Q 50	469 △ B 2, 8	2196 E 3	3532 △ A 3	458 G 2	51 A 24
	400 △ Q 49	172 Q 52	392 K 34k			463 G 6	54 A 27
	399 △ Q 48	173 Q 53	471 △ B 4, 10	2198 E 5	3534 △ A 5	460 G 4	53 A 26
	398 △ Q 47	171 Q 51	470 △ B 3, 9	2197 E 4	3533 △ A 4	459 G 3	52 A 25
70 C 5, 5a	388 △ Q 45	167 Q 49	468 △ B 1, 7	2195 E 2	3529 △ A 1	457 G 1	50 A 23
70 C 5, 5a	389-395 △ Q 45a, b	168 Q 49a					
77 C 7b	423 △ Q 52b		472 △ B 5, 11	2199 E 6	3535 △ A 6	461 G 5	63 A 31
78 C 7c	424 △ Q 52c		473 △ B 5a, 11a	2200 E 6a	3536 △ A 6a	462 G 5a	64 A 31a
83 C 10	127, 343 △ Q 51	196 Q 59	156 E 6	2211 F 2	3179 D 3		68 A 33
84 C 10a, b	128, 344 △ Q 51a, b	197, 198 Q 59a, b	157, 158 E 6a, b	2212, 2213 F 2a, b	3180, 3181 D 3a, b		69, 70 A 33a, b
85 C 10c, d	129 Q 51c, d	199, 200 Q 59c, d	159, 160 E 6c, d		3182, 3183 D 3c, d		71, 72 A 33c, d
	131 Q 53		164 * F 2		3032 A 7		168 B 32
	132 Q 54		169 F 4, 2		3043 A 11		160 B 28

	1952	1956	1958	1960	1962	1964
どちらが勝つと思う	80, 81 Q 36	100 Q 30		101 Q 43		160 Q 62
選択の理由	82 Q36a	101 Q 30a		102 Q 43a		161 Q 62a
(投票に行かないと答えた人に)						
もし行くとすれば、誰に投票するか	86 Q 40	104 Q 31		104 Q 44		163 Q 63
その理由	87 Q 40a	105 Q 31a		105 Q 44a		164 Q 63a
今年の選挙で投票した党	178 △ Q 7, 8, 23	203 △ S 7, 8, 16 Q 8, 16		201 △ Q 12, 13, 22		286 △ Q 6, 7, 13
その理由	182 △ Q 9	204 △ S 8a, Q 16a		202 △ Q 13a, 22a		287 △ Q 7a, 13a
(投票しなかった人に)						
投票したであろう候補者	178 △ Q 7, 8, 23	203 △ S 7, 8, 16 Q 8, 16		201 △ Q 12, 13, 22		286 △ Q 6, 7, 13
投票しなかった理由	180 △ Q 24	205 △ Q 16b		203 △ Q 23		293 △ Q 14
意思決定の時期	183 △ Q 10	206 △ Q 9		204 △ Q 14		288 △ Q 8
<hr/>						
3 議会選挙						
投票したか			77 Q 38		41 Q 40, 40a	
上院 — 投票したか	186 △ Q 12, 12a	211 △ Q 13, 13a, b	86 Q 42, 42a	210 △ Q 19, 19a		289 △ Q 9, 9a
どの党の誰に	83, 186 Q 37, 12, 12a	211 △ Q 13, 13a, b	86, 87 Q 42, 42a 43, 43a	210 △ Q 19, 19a		289 △ Q 9, 9a
下院 — 投票したか	187 △ Q 13, 13a	212 △ Q 14, 14a, b	81 Q 41, 41a	211 △ Q 20, 20a	42, 43 Q 41, 41a	290 △ Q 10, 10a
どの党の誰に	84, 187 △ Q 38, 13, 13a	212 △ Q 14, 14a, b	81, 82 Q 41, 41a	211 △ Q 20, 20a	42, 43 Q 41, 41a	290 △ Q 10, 10a
4 知事選挙						
投票したか			87 Q 43, 43a			291 △ Q 11, 11a
どの党の誰に	85, 188 △ Q 39, 14, 14a		87 Q 43, 43a			291 △ Q 11, 11a
5 その他の州・地方選挙						

1966	1968	1970	1972	1974	1976	1978	1980
	133 Q 54a		170 F 4a, 2a		3044 A 11a		
	135 Q 54b, d						
	134 Q 54c		171 F 4b, 2b		3045 A 11b		
	135 Q 54b, d						
	310△, 316△ Q 18, 19, 27		477△, 478△ C 1, 2, Q 1, 2		3655△, 3665△ D 1, 2		23 A 13
	317△ Q 20, 27a						
	316△ Q 18, 19, 27						
	335△ Q 28				3656-64 △ 3678-82 △ D 1a, 6, 6a-e		
	318△ Q 21		479 △ C 2a		3666 △ D 2a		175 B 33c
102 C 17		209 Q 65		2319 K 1		470 H 1	
109 C 19	319 △ Q 22	210 Q 66	480 △ C 3	2323 K 3, 3a, b	3668 △ D 3	477 H 5	
110 C 19 a	320 △ Q 22a	211, 212 Q 66a	481-2 △ C 3a, b	2324, 2325 K 3b	3669△, 3670△ D 3a, b	478 H 5a	
111 C 20	322 △ Q 23	213 Q 67	483 △ Q 3, C 4	2320 K 2	3671 △ D 4	473 H 3	
112 C 20a	323 △ Q 23a	214, 215 Q 67a	484-5 △ C 4a, b, Q 3	2321, 2322 K 2a, b	3672-3 △ D 4a, b	474 H 3a	
107 C 18	325 △ Q 24	216 Q 68	486 △ C 5	2326 K 4, 4a, b	3675 △ D 5	481 H 7	
108 C 18a	326 △ Q 24a	217-8 Q 68a	487 △ C 5a, b	2327, 2328 K 4b	3676-7 △ D 5a, b	482 H 7a	

	1952	1956	1958	1960	1962	1964
一貫投票か分割投票か／どの ように分割したか	189 △ Q 15, 15a	214 △ Q 15	88 Q 44, 44a	213 △ Q 21, 21a	48 Q 43, 43a	292 △ Q 12, 12a, b
D 投票決定への影響 (INFLUENCES ON R'S VOTE DECISION)						
政党との接触	190 △ Q 16, 16a, 26, 26a	221 △ Q 18		221 △ Q 25, 25a		325-7 △ Q 29, 29a-c
E 政治的知識 (POLITICAL KNOWLEDGE)						
選挙前後の多数党			19, 20 Q 10, 10a	226, 227 △ Q 28, 28a, 29, 29a		305-6 △ Q 19, 19a, 20, 20a
F マスメディアの影響 (IMPACT OF MASS MEDIA)						
1 新聞						
新聞でキャンペーンについて 読むか	173 △ Q 2, 2a	196 △ Q 1		190 Q 1, 6		279 △ Q 1, 1b
何新聞を最もよく読むか		197 △ Q 1a		191 Q 1a		280 △ Q 1a
キャンペーンについて読む頻度	173 △ Q 2, 2a			190 Q 1, 6		279 △ Q 1, 1b
2 ラジオ						
キャンペーンについて聴くか	174 △ Q 3, 3a	198 △ Q 2		192 Q 2, 7		281 △ Q 2, 2a
聴いた番組数	174 △ Q 3, 3a			192 Q 2, 7		281 △ Q 2, 2a
3 雑誌						
キャンペーンについて読むか	176 △ Q 5, 5a	200 △ Q 4		194 Q 4, 8		282 △ Q 3, 3a
読んだ記事数	176 △ Q 5, 5a			194 Q 4, 8		282 △ Q 3, 3a
4 テレビ						
キャンペーンについて観るか	175 △ Q 4, 4a	199 △ Q 3		193 Q 3, 9		284 △ Q 4, 4a
観た番組数	175 △ Q 4, 4a			193 Q 3, 9		284 △ Q 4, 4a
5 政治的情報の主要情報源	177 △ Q 6	201 △ Q 5		195 Q 5		285 △ Q 5
V 人生観に係わる諸変数 (QUALITY OF LIFE)						



	1952	1956	1958	1960	1962	1964
A 性格特性 (Personarity Profile)						
1 有能感 (Personal Competence)						
人生が望みどおり動くという 確信		288 * C 18	160 Q 73 (1)	238 △ Q 36		360 △ Q 44
計画が期待通りに実行できる		292 * C 22	164 Q 73 (5)	240 △ Q 38		362 △ Q 46
計画的に生きているか		287 * C 17		244 △ Q 42		
自分の意思に従って生きてい けるか				245 △ Q 43		
2 人間不信 (Trust in People — Personal Cynicism)						
たいていの人は信用できる	225* Q 43					398 △ Q 59
人は他人に親切か, 利己的か						399 △ Q 60
他人はあなたを利用しようと する						400 △ Q 61
VI 社会的要因に関する諸変数 SOCIAL STRUCTURE OF THE ELECTORATE						
A 個人的情報 (PERSONAL INFORMATION)						
1 年令 (注5)						
本人	142, 167 (注11)	295, 175 PD 24	174 PD 5	122 P 5	9, 10	187 P 6
所帯主	138 Q 6d	176 PD 25	175 PD 6	123 P 6	12, 13	186 P 5
本人の生年月日						
2 学歴						
本人の修学年数	131 Q 4, 4a-c	181 PD 29 29a-c	180 PD 10 10a-c	128 P 10 10a-c	78 Y 2, 2a-c	196 P 29, 29a, b, e, f
学位の種類						196 P 29, 29a, b, e, f
出身大学						199 P 29c-e, g
所帯主の修学年数					76 Y 2, 2a-c	197 P 29, 29a, b, e, f

1966	1968	1970	1972	1974	1976	1978	1980
	497 △ Q80	161 Q44	280,567◎ J12,G9	2398 M3	3738 △ F3		
	496 △ Q79	160 Q43	279,566◎ J10,G8	2397 M2	3737 △ F2		
	495 △ Q78	159 Q42	278,565◎ J10,G7	2396 M1	3736 △ F1		
	498 △ Q81	162 Q45	281,568◎ J12A,G10	2399 M4	3739 △ F4		
136 C31	500 △ Q83		581 △ H12	2400 M5	3745 △ F10		
137 C32	501 △ Q84		582 △ H13	2401 M6	3746 △ F11		
	502 △ Q85		583 △ H14	2402 M7	3747 △ F12		
192 D1	533	398 P1	294	2406	3369 S1b	504	765 Y1x,y
	145 P1	262 P1	293 K1	2405 S1,1a	3367,3368 S1,S1a	502,503 S1,1a,b	763,764 Y1,1a,b
197 D3,4,4b,c	156 P3,3a-d	269 P3,3a-d	300 K5,5a-c	2418 2420-21 S3,3b,e,f	3384, 3386-87 S3,3b,e,f	506,508,509 S3,3b,h,g	772,774,775 Y3,3g,b
197 D3,4,4b,c	156 P3,3a-d	269 P3,3a-d	300 K5,5a-c	2422 S3d	3388 S3c	510 S3d	776 Y3d
198 D4a,c	158 P3b-d	270 P3b-d	301 K5d,e	2424,2425 S3d,g	3390,3391 S3d,g	511 S3c,e	
	157 P3,3a-d	271 P3,3a-d	302 K5,5a,b	2427, 2429-30 S3h,k,p,g	3393, 3395-96 S5,5b,e,f	515,517,518 S3k,n,t,u	781,783,784 Y3k,t,n

	1952	1956	1958	1960	1962	1964
所帯主の学位						197 P 29, 29a, b, e, f
所帯主の出身大学						200 P 29c, e, g
所帯主の配偶者の修学年数						198 P 29, 29a, b, e, f
所帯主の配偶者の出身大学						201 P 29c, e, g
<hr/>						
3 人種 (Ethnic Background) (注6)						
本人の所属	129 Q 2	172 PD21	171 PD2	119, 249 △ P 2	97 Y37	183 P 2
誕生地	143 Q 9	182 PD30	220 PD24	175 P 28		252 P 45
両親は U. S. 生まれか	146 Q 12			176 P 28a		253 P 45a
父親の誕生地	151 Q 12c		222 PD25c	177 P 28b		254 P 45b
母親の誕生地	152 Q 12d		223 PD25d	178 P 28c		255 P 45c
父親の両親の出身国	147, 148 Q 12a		224 PD25a	179 P 28d		256 P 45d
母親の両親の出身国	149, 150 Q 12b		225 PD25b			
本人の認識						257 P 46
<hr/>						
4 家族構成						
人数	8	173 PD22	172 PD3	120 P 3	6	184 P 3
所帯主との関係	9	174 PD23	173 PD4	121 P 4	8	185 P 4
家族内の大人の構成						
家族内の18歳以下の子供数		178 PD279	177 PD8	125 P 8	88 Y 33	189 P 27
家族内有権者数						
最年少児の年齢		179 PD289	178 PD9	126 PD9	89 Y 33a	190 P 27a
5 所得						



1966	1968	1970	1972	1974	1976	1978	1980
	157 P 3, 3a-d	271 P 3, 3a-d	302 K 5, 5a-c	2431 S 3m	3397 S 5c	519 S 3 t	785 Y 3p
	159 P 3b-d	272 P 3b-d	303 K 5d, e	2433, 2434 S 3m, r, n	3399, 3400 S 5d, g	520 S 3o, q	786 Y 3o
		273 P 3, 3a-d	304 K 5, 5a-c	2435, 2437-39 S 3n, k, m P, q	3401, 3403-3405 S 5, c, e, f	523, 525-527 S 3k p, t, u	781 Y 3k
		274 P 3b-d	305 K 5, d, e	2441-2 S 3m, r, n	3407-8 S 5d, g	528 S 3 l	782 Y 3l
237 D 26	264, 526 △ P 26, Q 106	3, 391 P 27	120, 425 1065 △	2554	3218, 3513, 3952△ E 10, Q 2	631 X 2	944 Y 57
223 D 18	243 P 17	363 P 14	407 K 38	2537 S 40	3498 S 43	621	956 Y 62
224 D 18a-c	244 P 17a	364 P 15	408 K 39	2529 S 37	3490 S 40	612 S 35	947 Y 58
225 D 18b	245 P 17b	365 P 15a	409 K 39a	2530 S 37a	3491 S 40a	613 S 35a	948 Y 58a
226 D 18c	246 P 17c	366 P 15b	410 K 39b	2531 S 37b	3492 S 40b	614 S 35b	949 Y 58b
227 D 18d	247 P 17d	367 P 15c	411 K 39c	2532 S 37c	3493 S 40c	615 S 35c	950 Y 58c
	248 P 17e	368 P 15d	412 K 39d	2533 S 37d	3494 S 40d	616 S 35d	951 Y 58d
	249, 250 P 17f	369 P 15e	406 S 37	2528 S 36	3489, 3894 S 39, J 13	607-610 S 34, 34a, b	952 Y 59
		34					1016
238 D 27	265, 527 P 27, Q 107	392 P 28	426, 1066 △	2555	3514	633 X 3	972 Z 4
14	18	32	18	2019	3020	37	
194 D 2a	147 P 2a	267 P 2c					
	20		19	2020	3021	38	1017
195 D 2b	149 P 2b						

	1952	1956	1958	1960	1962	1964
家庭の所得	160 Q 20	190 PD35	203 PD30	189 P 33	75 B 95	269 P 53
6 ライフ・サイクル上の位置 (既未婚・子供の年等による分類)		180 PD24, 26, 28	179 PD5, 7, 9	127 PD5, 7, 9	102 Y3, 33, 33a	216 P6, 7, 11, 12, 27a
7 結婚経験	114 Q 45, 45a	177, 226△ Q 21	176 PD7	124, 250△ P7, 8	79 Y 3	188 P 7, 12
8 宗教・宗派 (注7)	158 Q18	132 PD4	210 PD21	252△ P 10, 10a	93 Y 35	235 P 42, 42a
9 地域の人種構成						
近隣区の人種構成						118 Q 32
小学校の人種構成						119 Q 33
友人の人種構成						124 Q 38
10 性別	128 Q 1	171 PD20	170 PD1	118, 248△ P 1	98 Y 38	182 P 1
11 社会階層						
主観的所属	126 Q48	223-224△ Q 19, 19a-d	218, 219 PD23, 23a-d	155 P21, 21a, b	91, 92 Y34, 34a, b	231 P40, 40a, b
同階層の人への近親感				156 P 21c		232 P 40c
家庭の社会階層		225△ Q 20, 20a		158 P 22		234 P 41
12 組合加入						
労働組合加入の有無	139, 214* Q 7, 7a	130 PD3, 3a	205 PD20, 20a	150 PD20, 20a		228 P 39
加入労働組合		131 PD3b	206 PD20b	151 PD20b		229 P 39b
組合加入年数		244△ Q 40	207 PD20c	152 PD20c		230 P 39c
B 職業 (EMPLOYMENT STATUS AND OCCUPATION) (注8)						
〔本人〕 職の有無 (注9)						
職 種	132 Q 5	120 PD1	181 PD11	129 P 11	80 B 1, 1a, 2	202 P 30
産 業 (注10)		121 PD1	182 PD11	130 P 11	81 B 1a, 2a	203 P 30

1966	1968	1970	1972	1974	1976	1978	1980
235 A 23	261 P 23	388 P 24					
196 D 1, 2							
193 D 2	146 P 2	263 P 2	295 K 2	2407 S 2	3370 S 2	505 S 2	766 V 2, Y 2
221 D 16, 16a	213 P 10, 10a	360, 361 P 12, 12a	422 K 47, 47a, b	2551 S 48, 48a, b	3510 S 52, 52a, b	605 S 32, 32a, b	942 Y 55
	89 Q 34a	78** Q 20a	131 D 18, 26		3219 E 15, 11		
	90 Q 34b	79** Q 20b	133 D 20,		3221 E 13, 17		
	95 Q 34g	84** Q 20g	138 D 24, 32		3222 E 14, 18		
236 D 25	263, 525△ P 25, Q 105	390 P 26	424, 1064△	2553	3512, 3951 Q 1	630 X 1	969 Z 1
218, 219 D 14, 14a-d	208, 209 P 7, 7a-e	355, 356 P 9, 9a-c, e	400-403 K 35, 35a-c, e	2522-2525 S 34, 34a-c, e	3483-3486 S 37, 37a-c, e	600-603 S 31, 31a-c, e	937-940 V 24, 24a-c Y 54, 54a-c
	210 P 7d, f	357 P 9d, f	404 K 35d, f	2526 S 34d, f	3487 S 37d	604 S 31d	941 V 24d, f Y 54d, f
220 D 15	212 P 9	359 P 11	405 K 36	2527 S 35	3488 S 38		
215 D 13, 13a	201 P 6, 6a	347, 348 P 8, 8a	378, 379, 398 K 33, 33a, 34r	2515-6 S 31, 31a	3476-7 S 34, 34a	595-596 S 27, 27a	932 Y 50
216 D 13b	202, 204, 206 P 6b	349, 351, 353 P 8b	380-382 K 33b	2517-9 S 31b	3478-80 S 34b		
217 P 13c	203, 205, 207 P 6c	350, 352, 354 P 8c					
	160 P 4	275 P 4	135, 306, 968△ D 22, 30, K 6, X 1	2443 S 4	3409 S 6	531 S 4	790 V 3/Y 4
	161, 163 - 5 176, 178-180 P 4a-c	276, 278-80 P 4, 4a, g	309-312 K 7, 12a, 16	2446-2449 S 5	3412-3414 S 7, 13a, 17	534-536 S 5, 8a, 12	791 Y 5
	162, 177 P 4a-c	277 P 4b, h	313 K 8, 12b, 16a	2450 S 6	3415 S 8, 13b, 17a	537 S 6, 8b, 12a	794 Y 5a

	1952	1956	1958	1960	1962	1964
自営 — 被雇用	133 Q5a	122 PD1	183 PD11c	131 P11c	82 B3	204 P30c
週平均労働時間数						
2年以内の失業経験 (72年以後、前年度の)			187 PD11a, b	134 P11a, b		207, 208 P30a, b, e
(失業中の場合) 以前の職種	134 Q5b, c	123 PD1	184 PD11d, f	132 P11d, f	80 B1, 1a, 2	205 P35d, f
以前の産業		124 PD1	185 PD11d, f	133 P11d, f	81 B1a, 2a	206 P30f
以前の自営 — 被雇用						
以前の週平均労働時間数						
失業期間			186 PD11e	135 P11e		207 P30a, b, e
(所帯主) 職の有無						
職種	135 Q6	125 PD2	188, 202 PD12	136 P12, 12a-f	64 B1, 1a, 2	209, 217 P31
産業		126 PD2	189 PD12	137 P12	65 B1b	210
自営 — 被雇用	136 Q6a	127 PD2	190 PD12c	138 P12c	67 B3	211 P31c
週平均労働時間数						
失業経験			194 PD12a, b	141 P12a, b	66, 72 Q47a, B13	214-15 P31a, b, e
(失業中の場合) 以前の職種	137 Q6b, c	128 PD2	191 PD12d, f	139 P12d		212 P31d, f
以前の産業		129 PD2	192 PD12d, f	140 P12d, f		213 P31f
以前の自営 — 被雇用						
以前の週平均労働時間数						
失業期間			193 PD12e	142 C36, 37, 36 37a, c, d	73 B14	214 P31a, b, e
(所帯主の配偶者) 職の有無						
職種						

1966	1968	1970	1972	1974	1976	1978	1980
	166, 181 P4a-c	281 P4c, i	314, 974 △ K9, 12c, 16b X4	2451 S7	3416 S9, 13c, 17b	538 S7, 8c	795 V4/Y6
	167, 182 P4a-c		317 K10, 13a, 17b	2454 S8, 11a, 15b	3419 S10, 14a, 18a	541 S7a, 9b, 13a	801 Y7a
	190, 191 P4d, e	283-85 P4e, f	318 K11	2455 S9	3421 S12	542 S7b	804 Y9
	161, 163-5 176, 178-80 P4a-c	276, 278-80 P4a, g	309-312 K7, 12a, 16	2446-49 S5, 10a, 14	3412-14 S7, 13a, 17	534-536 S5, 8a, 12	807 Y10a
	162, 177 P4a-c	277 P4b, h	313 K8	2450 S6, 10b, 14a	3415 S8, 13b, 17a	537 S6, 8b, 12a	810 Y10b
	166, 181 P4a-c	281 P4c, i	314 K9, 12c, 16b	2451 S7, 10c, 14b	3416 S9, 13c, 17b	538 S7, 8c, 12b	811 V6/Y11
			317 K10, K13a 17b	2454 S8, 11a, 15b	3419 S10, 14a, 18a	541 S7a, 9b, 13a	817 Y12a
	190 P4d, e	286 P4j					
199 D5	168 P4	298 P6	329 K19	2466 S17	3431 S20	553 S16	862 V14/Y27a
201, 204 D5, 5b, c	169, 171-173 183, 185-7 P4a-c	299, 301-3 P6a, g	332-35 K20, 25a, 29	2469-72 S18, 23a, 27	3434-36 S21, 26a, 30	556-58 S17, 20a, 24	863 Y28
202, 203 D5, 5b, c	170, 184 P4a-c	300	336 K21, 25b, 29a	2473 S19, 23b, 27a	3437 S22, 26b	559 S18, S20b 24a	866 Y28a
200 D5a	174, 188 P4a-c	304 P6c, i	337 K22, 25c, 29b	2474 S20, 27b, c	3438 S23a, 26c, 30b	560 S19, S20c 24b	867 V15/Y29
	175 P4a, c		340 K23, 25c, 29b	2477 S21, 24a, b	3441 S24, 27a, 31b	563 S19, 21b, 25a	873 Y32a
	192, 193 P4d, e	306-08 P6e, f					
201, 204 D5, 5b, c	169, 171-173 P4a-c	299, 301-3 P6a, g	332-35 K20, 25a, 29	2469-72 S18, 23a, 27	3434-36 S21, 26a, 30	556-58 S17, 20a, 24	894 Y39
202, 203 D5, 5b, c	170 P4a-c	300	336 K21, 25b, 29a	2473 S19, 23b, 27a	3437 S22, 26b	559 S18, 20b, 24a	897 Y39a
	174 P4a, b, c	304 P6c, i	337 K22, 25c, 29b	2474 S20, 27b, c	3438 S23, 26c, 30b	560 S19, 20c, 24b	898 V19, Y40
	175 P4a, c		340 K23, 26a, 30b	2477 S21, 24a, b	3441 S24, 27a, 31b	563 S19a, 21b, 25a	904 Y41a
	192 P4d	309 P6j					
		320 P6	351 K19	2488 S17	3451 S20	574 S16	926 Y7
		321, 323-25 P6a, g	354-57 K20, 25a, 29	2491-94 K18, 27	3454-56 S21, 26a, 30	577-79 S17, 24, 20a	

	1952	1956	1958	1960	1962	1964
産 業						
自営 — 被雇用						
(失業中の場合) 以前の職種						
以前の産業						
以前の自営 — 被雇用						
〔両親〕 (若年被調査者の場合)						
父親の職種	140.141 Q 8	298 PD32	257 PD26	180 P 29		259 P 48
母親の職種						
(農家の場合) 経済状態				181 P 29a		260 P 48a
〔農家〕 自作 — 小作		233 △ Q 30	196 PD14	144 PD14		222 P 33
耕地面積		234 △ Q 31	197 PD15	145 PD15		223 P 34
作物の種類		235 △ Q 32	198 PD16	146 PD16		224 P 35
兼業 — 専業						218 P 32
兼業業種						219 P 32a
週平均農業外労働時間数						220 P 32b
年平均農業外労働週数						221 P 32b
C 居 住 (RESIDENCE INFORMATION)						
1 居 住 地 域						
第 1 次抽出単位	6 (注11)	3	4	4	3	4
地 域 分 類 (Place Identification)					3	5
ICPSR County Code)		3	4, 246	9		11

1966	1968	1970	1972	1974	1976	1978	1980
		322 P 6b, h	358 K21,25b,29a	2495 S19,23b,27a	3457 S22,26b,30a	580 S18,20b,24a	
		326 P 6c, i	359 K22,25c,29b	2496 S20,27b, c	3458 S23,26c,30b	581 S19,20c,24b	
		321, 323-25 P 6a, g	354-57 K20,25a, 29	2491-94 S18,27	3454-56 S21,26a, 30	577-79 S17,20a, 24	
		322 P 6b, h	358 K21,25b, 29a	2495 S19,23b, 27a	3457 S22,26b, 30a	580 S18,20b, 24a	
		326 P 6c, i	359 K22,25c, 29b	2496 S20,27b, c	3458 S23,26c, 30b	581 S19,20c, 24b	
228 D19	252-55 P 19	370-73 P 16	413 K40,41	2534 S 38	3495 S 41	618 S 37	
		374-77 P 17	415 K41 a	2536 S39 a	3497 S42 a	620 S38 a	
229 D19a	256 P19a	378 P 18					
209 D 7	194 P 5	346 P7c	377 K32c	2514 S30c	3475 S33c		
210 D 8	195 P5a						
211 D 9	196 P5b						
205 D 6		342 P 7	373	2510 S 30	3471 S 33		
206 D6a		343 P7a	374 P 17	2511 S 30a	3472 S33 a		
207 D6b		344 P7b	375	2512 S 30b	3473 S33 b		
208 D6b		345 P7b	376	2513 S 30b	3474 S33 b		
3	6, 7	22, 23	9, 10	2010-11	3010		
3	7	23	10	2011	3012		
5	16	20	7	2008, 2544	3008	13	2007

	1952	1956	1958	1960	1962	1964
Sampling County Code						10
State Code	6	7	9	10	3	12
Region Code	5,168 △	3	4,266	4	3	4
Congressional District Number		8	10,267	11		13,274 △
State and Congressional District						
2 地域特性 (Description of Area)						
都市化の程度			4		3	
地域のタイプと人口数	6,7,	4	5,247	5-7		
SRC Belt Code						6
大都市からの距離					4	
3 居住年数						
現在のコミュニティでの居住年数						
現在の家での居住年数			229 PD29	185 P 32		264 P 51
4 以前の居住地			230-31 PD29a			265 P51a
以前の居住地との比較 古さ (Age)			234 PD29b	186 P23b		266 P 52, 52a
地価 (Expense)			235	187 P 32b		267 P52b
5 児童期の居住地						
育った州・郡	144 Q10	188 PD33	226 PD27	182 P 30		261 P 49
現在の州に移ってからの期間			227 PD27a	183 P 30a		262 P 49a
育った地域の人口数	145 Q11	189 PD34	228 PD28	184 P 31		263 P 50
6 住居の特性						



1966	1968	1970	1972	1974	1976	1978	1980
4	17	21	8	2009	3009		
10	14	18	4	2005	3005	12	2001
10	13	19	5, 9	2006, 2010	3006, 3010	14	2017
11		25				11	2002
	15		6	2007	3007	8	
			9, 11	2010	3010-11		
			12	2016	3017	22	2011
6	8	27		2017	3018	26	2015
9	11, 12	30, 31	14, 15	2013-4	3014-5	24, 25	2013-4
	260 P 22	382 P 21	419 K 44	2543 S 43	3502 S 46	627 S 42	962 Y 65
233 D 22		384 P 22		2546 S 44	3503 S 47	628 S 43	966 Y 66
234 D 22 a		383 P 21 a		2544-45 S 43 a			
		385 P 23, 23a		2547 S 45, 45a	3504 S 48, 48a		
		386 P 23 b		2548 S 45 b	3505 S 48 b		
230 D 20	257 P 20	379 P 19	416 K 42	2538 S 41	3499 S 44	622 S 40	957 Y 63
231 D 20 a	258 P 20 a	380 P 19 a	417 K 42 a	2539 S 41 a			
232 D 21	259 P 21	381 P 20	418 K 43	2540 S 42	3500 S 45	623 S 41	958 Y 64



1966	1968	1970	1972	1974	1976	1978	1980
	262 P 24	389 P 25	421 K 46	2550 S 47	3509 S 51	629 S 44	967 Y 67
			436	2563	3522	646	984 Z 15
130 C 26 l	240 P 16q	249 Q 75k	720 △ K 2q	2365 L 2k	3832 △ J 1n		678 F 1l
119 C 26	224 P 16a		707 △ K 2	2356 L 2. 2a	3821 J 1, 1a		695 F 1c
121 C 26 c	227 P 16d		712 △ K 2f		3826 J 1f		
131 C 26 m	241 P 16r	242 Q 75d	724 △ K 2u	2369 L 2q	3838 J 1u		685 F 1s
124 C 26 f	230 P 16g	248 Q 75j	719 △ K 2p	2364 L 2j	3833 J 1p		679 F 1m
			732 △ K 2c	2375 L 2w			
126 C 26 h	232 P 16f		716 △ K 2k		3842 J 1y		
127 C 26 i	235 P 16 l		722 △ K 2s	2367 L 2n	3836 J 1s		682 F 1p
120 C 26 b	225 P 16b	252 Q 75n	709 △ K 2c	2358 L 2c	3823 J 1c		669 F 1c
	231 P 16h	246 Q 75h	717 △ K 2m	2362 L 2g	3831 J 1m		677 F 1k
125 C 26 g	228 P 16e	240 Q 75b	714 △ K 2h	2360 L 2e	3828 J 1h		
123 C 26 e	239 P 16p		715 △ K 2j		3844 J 1a		
129 C 26 k	237 P 16n	250 Q 75n	721 △ K 2r	2366 L 2m	3835 J 1r		681 F 1o
128 C 26 j	233 P 16j	247 Q 75i	718 △ K 2n	2363 L 2h	3846 J 1c		692 F 1z

### Ⅲ SRC全米選挙調査の磁気テープ利用の方法

一般に、コンピューターへのデータの入力には、次の三つの方法がある。(1)カード、(2)磁気ディスク、(3)磁気テープ、の三種である。(1)のカードによる入力は、最も簡単なものであるが、その反面で、多量データの処理や同一のデータを幾度も計算に利用する場合には適さない。ICPSRのAmerican National Election Studyを例にとってみると、1976年の調査データをカードにすると45,000枚程度、1978年の調査では145,000枚程度になり、これらをカードによって入力するのは全く不可能である。これに対し、(2)の磁気ディスクおよび(3)の磁気テープは、一旦これらのデータセットを作成してしまえば、実際に計算処理を行う場合には数枚のカードによってデータセットを呼び出せる利点がある。また(2)の磁気ディスクと(3)の磁気テープを比較した場合、前者の方が利用が手軽な反面、多量のデータセットの場合には輸送に困難が伴うという欠点がある。したがって、ICPSRのAmerican National Election Studyではもっぱら、(3)の磁気テープが利用されている。本稿は、以上のような理由から磁気テープによってICPSRから送られてくるAmerican National Election Studyのデータを、我国でどのように利用するかについて、主にコンピューター処理を行う際の手続きについて概述するものである。なお本稿で紹介する手続きは、慶応義塾大学計算センター三田計算室(FACOM M-160使用)におけるものである。

#### (1) 磁気テープの登録手続き

ICPSRのAmerican National Election Studyのデータを利用する場合に初めに行う手続きは、磁気テープの登録である。磁気テープには、一般に、(1)SL(標準ラベル)と(2)NL(ラベル無し)があるが、ICPSRから同志社大学アメリカ研究所第V部門(代表、三宅一郎教授)に送られてくる磁気テープは前者(1)のSL形式のものである。

このため慶応大学のように、SLの磁気テープの持込みを認めていないところでは磁気テープの登録の手続きが繁雑になる。つまり、ICPSRから同志社大学に送られてきたSL磁気テープの他に、もう一本別の磁気テープ(貸出し)を予約し、前者の磁気テープの内容を後者へダビングすることが必要になる。以下、その具体的な手続きについて紹介することにした。

まず、次のカードを用意する。

```

//課題番号JOB, ジョブ識別名
//PASS=パスワード
//EXECUR
//RS.SYSINDDX
MC, 1.
MF, 1.
//
//

```

これは、SLの持込み磁気テープ1本と、それをダビングするための貸出し磁気テープ1本を予約する場合である。したがって、2本以上の予約を行う場合には、MC, 1.およびMF, 1.を各々、MC, 2.およびMF, 2.またはMC, 3.およびMF, 3.……とすればよい。

ここで、M00100という課題番号とKEINANというパスワードを持つ利用者がSLの持込み磁気テープを5本利用する場合を考えてみよう。この利用者が用意するカードは次のようになる。

```

//M00100JOB, ジョブ識別名,
//PASS=KEINAN
//EXECUR
//RS.SYSINDDX
MC, 5.
MF, 5.
//
//

```

次に、用意したカードセットをCR(カード読取装置)に入力すると、LP(ラインプリンタ装置)から、入力したジョブ識別名を先頭にしたアウトプ

ットが出力され、予約した磁気テープの番号が知られる。さらに、持込み磁気テープにアウトプットを添え、計算センター事務室へ提出し、登録を行う。

さらに、持込み磁気テープから貸出し磁気テープへのダビングを行う。この場合、様々なテープ・インフォメーションが必要であるが、ICPSRのAmerican National Election Studyの場合は、以下の通りである。

×American National Election Study, 1948の場合( ICPSRから同志社大学に送られてきた(TAPE "I")に所収)

- Density = 1600
- Track = 9
- Mode = EBCDIC
- Parity = Odd
- RECFM = FB
- Data are = Blocked
- Label = Standard Label (SL)
- Format = Card - Image
- File = 10
- LRECL = 80
- BLKSIZE = 5120
- DSNAME = DA7218
- Number of Records = 1,324

×American National Election Study, 1952の場合(TAPE "I")

- Density ~ Format は1948年の場合と同様である。
- File = 11
- LRECL = 80
- BLKSIZE = 5040
- DSNAME = DA7213
- Number of Records = 17,091

×American National Election Study, 1956の場合(TAPE "I")

- Density ~ Format は1948年の場合と同様である。
- File = 12

- LRECL = 80
- BLKSIZE = 5040
- DSNAME = DA7214
- Number of Records = 15,858

×American National Election Study, 1958の場合(TAPE "I")

- Density ~ Format は1948年の場合と同様である。

- File = 13
- LRECL = 80
- BLKSIZE = 5120
- DSNAME = DA7215
- Number of Records = 11,600

×American National Election Study, 1960の場合(TAPE "K")

- Density ~ Format は1948年の場合と同様である。

- File = 1
- LRECL = 80
- BLKSIZE = 24000
- DSNAME = DA7216
- Number of Records = 11,810

×American National Election Study, 1962の場合(TAPE "I")

- Density ~ Format は1948年の場合と同様である。

- File = 14
- LRECL = 80
- BLKSIZE = 5120
- DSNAME = DA7217
- Number of Records = 2,594

×American National Election Study, 1964の場合(TAPE "I")

- Density ~ Format は1948年の場合と同様である。

- File = 15
- LRECL = 80
- BLKSIZE = 4800

• DSNAME = DA7235

• Number of Records = 27,510

×American National Election Study, 1966の場合(TAPE "I")

• Density ~ Formatは1948年の場合と同様である。

• File = 16

• LRECL = 80

• BLKSIZE = 5040

• DSNAME = DA7259

• Number of Records = 9,037

×American National Election Study, 1968の場合(TAPE "I")

• Density ~ Formatは1948年の場合と同様である。

• File = 17

• LRECL = 80

• BLKSIZE = 5120

• DSNAME = DA7281

• Number of Records = 26,768

×American National Election Study, 1970の場合(TAPE "L",なお, American National Election Study, 1970は, TAPE "I"にも所収されているが,不完全であるために, TAPE "L"の方を利用した方がよい。)

• Density ~ Formatは1948年の場合と同様である。

• File = 1

• LRECL = 80

• BLKSIZE = 4800

• DSNAME = DA7298

• Number of Records = 16,940

×American National Election Study, 1972の場合(TAPE "K")

• Density ~ Formatは1948年の場合と同様である。

• File = 4

• LRECL = 80

• BLKSIZE = 24000

• DSNAME = DAANES72

• Number of Records = 67,625

×American National Election Study, 1974の場合(TAPE "K")

• Density ~ Formatは1948年の場合と同様である。

• File = 2

• LRECL = 80

• BLKSIZE = 23520

• DSNAME = DA7355

• Number of Records = 22,050

×American National Election Study, 1976の場合(TAPE "K")

• Density ~ Formatは1948年の場合と同様である。

• File = 5

• LRECL = 80

• BLKSIZE = 24000

• DSNAME = DAANES76

• Number of Records = 44,960

×American National Election Study, 1978の場合(TAPE "K")

• Density ~ Formatは1948年の場合と同様である。

• File = 8

• LRECL = 80

• BLKSIZE = 24000

• DSNAME = DAANES78

• Number of Records = 145,152

×American National Election Pilot Study, Spring 1979の場合(TAPE "Q")

• Density ~ RECFMは1948年の場合と同様である。

• Label = IBM Standard

• Format = OSIRIS

• File = 5

• LRECL = 1431

- BLKSIZE = 4293
- DSNAME = DA7709
- Number of Records = 280

※なお、America National Election Pilot Study, Spring 1979のDictionaryも(TAPE "Q")に所収されている。このDictionaryに関するテープ・インフォメーションは、以下の通りである。

- Density ~ RECFMは1948年の場合と同様である。
- Label = IBM Standard
- Format = OSIRIS
- File = 4
- LRECL = 80
- BLKSIZE = 1600
- DSNAME = DI7709
- Number of Records = 929

※American National Election Study, 1980: Traditional Time Series, (C3/C3po) Surveys, ICPSR Versionの場合(TAPE "T"の場合)

- Density ~ RECFMは1948年の場合と同様である。
- Label = IBM Standard
- Format = OSIRIS
- File = 12
- LRECL = 3100
- BLKSIZE = 31000
- DSNAME = ODATA.S7763C3
- Number of Records = 1,614

※なお、American National Election Study 1980: Traditional Time Series (C3/C3po) Surveys, ICPSR VersionのDictionaryおよびCodebookについては現在のところ、入手が困難である。したがって、このDictionaryおよびCodebookについては(TAPE "T")に所収されているものを利用するのが便利である。ただし、Dictionaryに

関するアウトプットは23ページであるが、Codebookに関するアウトプットは574ページとかなりの量になる。DictionaryおよびCodebookに関するテープインフォメーションは以下の通りである。

(Dictionaryの場合: TAPE "T")

- Density ~ RECFMは1948年の場合と同様である。
- Label = IBM Standard
- Format = OSIRIS
- File = 11
- LRECL = 80
- BLKSIZE = 1600
- DSNAME = ODICT.S7763C3
- Number of Records = 1,351

(Codebookの場合: TAPE "T")

- Density ~ RECFMは1948年の場合と同様である。
- Label = IBM Standard
- Format = OSIRIS
- File = 13
- LRECL = 80
- BLKSIZE = 1600
- DSNAME = OCDBK.S7763C3
- Number of Records = 34,426

※なお、American National Election Study, 1980には、これまで述べてきたTraditional Time Series (C3/C3po) Surveys, ICPSR Versionの他にIntegrated File, CPS Versionがある。後者のIntegrated File, CPS Versionは、前者のICPSR Versionと同様に(TAPE "T")に所収されている。CPS Versionのテープ・インフォメーションは以下の通りである。

- Density ~ RECFMは1948年の場合と同様である。
- Label = IBM Standard
- Format = OSIRIS

- File = 2
- LRECL = 2855
- BLKSIZE = 31405
- DSNNAME = DAANES80.INTEG
- Number of Records = 3,587

- Label = IBM Standard
- Format = OSIRIS
- File = 1
- LRECL = 80
- BLKSIZE = 1600
- DSNNAME = DIANES80.INTEG
- Number of Records = 1,873

※なお、American National Election Study, 1980: Integrated File, CPS Version の Dictionary も (TAPE "T") に所収されている。この Dictionary のテープ・インフォメーションは以下の通りである。

- Density ~ RECFM は 1948 年の場合と同様である。

(2) 磁気テープの利用・他課題使用・解約手続き

本項では、前項(1)の手続きにしたがって登録された磁気テープの利用の仕方を概述する。まず、FORTRAN に基づくプログラムによって磁気テープを利用する場合、一般的な使用例は以下の通りである。

```

//課題番号 JOB, ジョブ識別名,
//PASS=パスワード
//EXEC FORTCLG
//FORT.SYS IN DD *
      |
      |
      | READ(10) A, B, C } FORTRAN に基づくプログラム
      |
      |
// *
//GO.FT10F001 DD DSN=データセット名, UNIT=(TAPE, DEFER),
// LABEL=(, (NL)), VOL=SER=磁気テープ番号
      |
      |

```

また、COBOL に基づくプログラムによって磁気テープを利用する場合、一般的な使用例は以下の通りである。

```

//課題番号 JOB, ジョブ識別名
//PASS=パスワード
//EXEC COBUCLG
//COB.SYS IN DD *
      |
      |
      | SELECT TAPE-FILE ASSIGN TO MT-S-八文字以内 } COBOL に
      |                               の任意名。      | 基づくプログラム
      |
// *
//GO.TAPE DD DSN=データセット名, UNIT=(TAPE, DEFER),
// LABEL=(, (NL)), VOL=SER=磁気テープ番号
      |
      |

```



ただし、FORTRANの場合も、COBOLの場合も共に、`␣`は1桁以上の空白を示し、`[ NL SL ]`はNLまたはSLのいずれか一つを選択またはいづれも省略することが可能であることを意味する。

ここで、磁気テープを登録した者(つまり持主)が、他の者に登録した磁気テープの内容を利用することを許可する手続きについて概説する。この手続きには、磁気テープを登録した者(持主)のパスワードが必要になっている。これは、磁気テープを登録した者(持主)に無断で、その磁気テープの内容を借用する、いわゆるくデータの盗難を防止するためである。他課題使用許可のために入力するカードは以下の通りである。

```

//持主の課題番号JOB, ジョブ識別名
//PASS=パスワード
//EXECPM
//PM.SYSINDD*
磁気テープ番号, 借用者の課題番号, 有効期限.
/*
//

```

なお、有効期限は、(西暦年の下二桁)+(月:二桁)+(日:二桁)の計六桁の数字である。例えば、M00100という課題番号とKEINANというパスワードを持つ者(持主)が、自分の登録したMF0123という番号の磁気テープを、M00200という課題番号を持つ者(借用者)に1982年3月8日までの使用を許可する場合、入力するカードは以下の通りである。

```

//M00100JOB, ジョブ識別名,
//PASS=KEINAN
//EXECPM
//PM.SYSINDD*
MF0123, M00200, 820308.
/*
//

```

なお、ここで有効期限を省略し、

```
MF0123, M00200.
```

とすることも可能である。この場合には、他課題使

用許可のヶ月先が自動的に有効期限になる。

次に、磁気テープを登録した者(持主)が借用者に対して使用停止を行う場合の手続きについて述べることにしたい。なお、この使用停止の手続きを行うと、直ちに他課題使用が停止されるが、この手続きを行わなくても、他課題使用許可で定めた有効期限の翌日から自動的に他課題使用は停止される。他課題使用停止の手続きに必要なカードは以下の通りである。

```

//課題番号JOB, ジョブ識別名,
//PASS=パスワード
//EXECST
//ST.SYSINDD*
磁気テープ番号, 借用者の課題番号.
/*
//

```

例えば、M00100の課題番号とKEINANというパスワードを持つ者(持主)が、M00200という課題番号を持つ者(借用者)に使用を許可したMF0123という磁気テープについて、有効期限内に借用者の使用を停止させる場合、手続きに必要なカードは次の通りである。

```

//M00100JOB, ジョブ識別名,
//PASS=パスワード
//EXECST
//ST.SYSINDD*
MF0123, M00200.
/*
//

```

なお、借用者の課題番号の代りにALLを指定することもできる。上記の例では、次のようになる。  
MF0123, ALL.

この場合、使用を許可してある全ての借用者の使用停止を命じたことになる。

最後に、登録した磁気テープを解約する場合の手続きについて述べることにする。なお、この手続きを行った場合、解約した当日中はまだ磁気テープを使用することが可能であるが、翌日から不可能に

なる。解約の手續きに必要なカードは、以下の通りである。

```

{ // 課題番号 JOB, ジョブ識別名,
  // PASS=パスワード
  // EXEC CC
  // CC.SYSIN DD *
  磁気テープ番号
  // *
  //

```

例えば、M00100という課題番号とKEINANというパスワードを持つ者が、既に登録してあるMC0234という磁気テープを解約する場合に必要なカードは、以下の通りである。

```

{ // M00100 JOB, ジョブ識別名,
  // PASS=KEINAN
  // EXEC CC
  // CC.SYSIN DD *
  MC0234.
  // *
  //

```

なお、持込み磁気テープを解約した場合には、解約手續きのカードをCR(カード読取装置)に入力させた際にLP(ラインプリンタ装置)から出力したアウトプットを計算センター事務室へ提出すれば、持込んだ磁気テープが返却されることになる。

### 付 記

本稿は関西学院大学世論研究会の下記の諸君との共同研究にもとづくものである。記して感謝の意を表わしたい。

田尾正子, 山本晃嗣, 難川航嗣, 山本奈津美  
山谷房徳, 鈴木雅樹, 鈴木康弘, 酢谷 昌美  
若狭英和, 落越 忠, 薮田高広, 芭蕉宮生子  
木田 博, 北脇克也, 竹内康夫, 細長 保宏